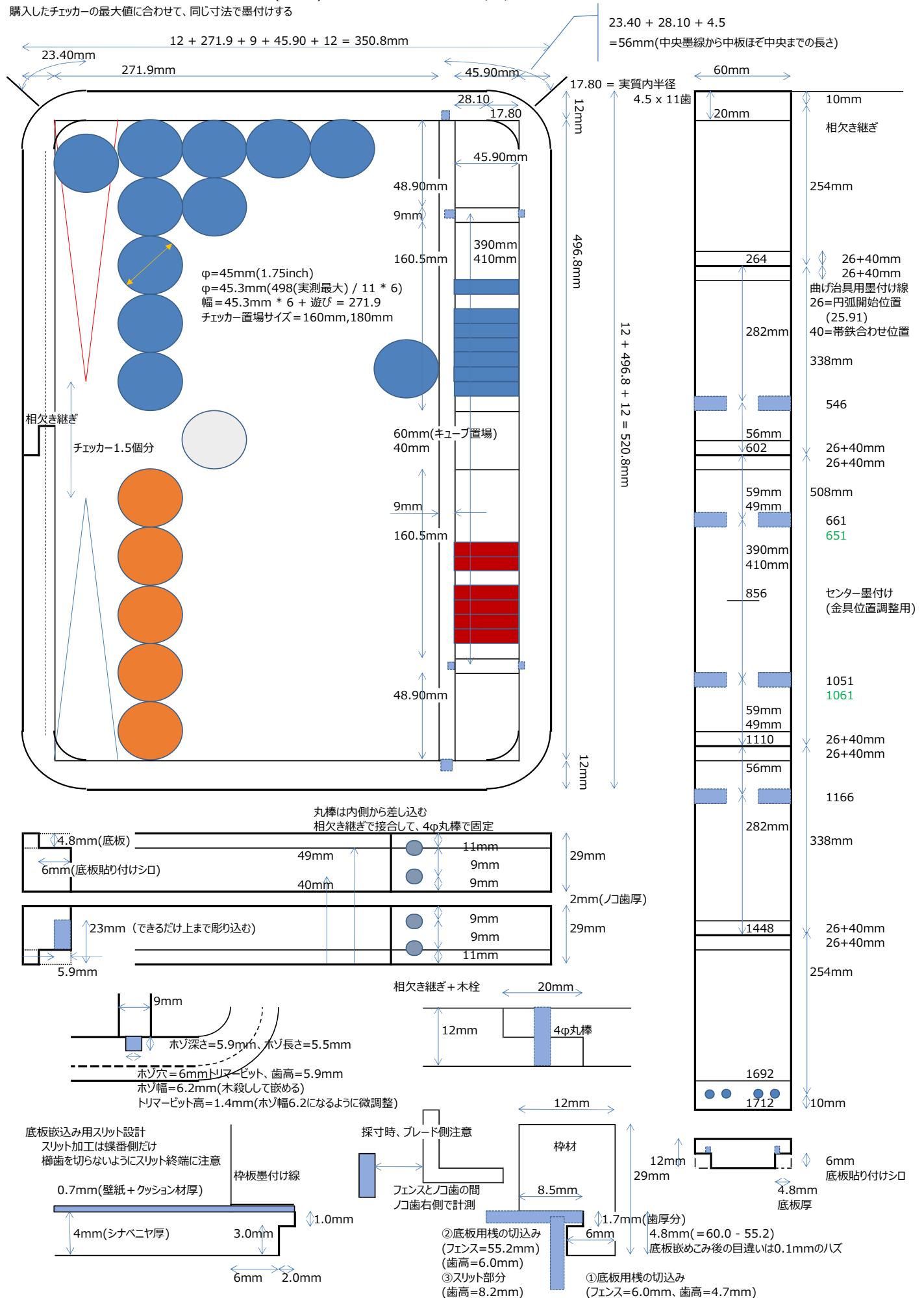
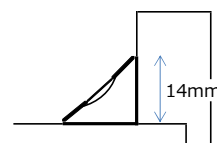
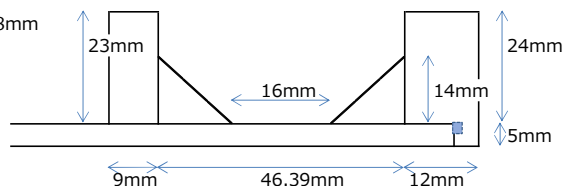


購入したチェッカーの最大値に合わせて、同じ寸法で墨付けする



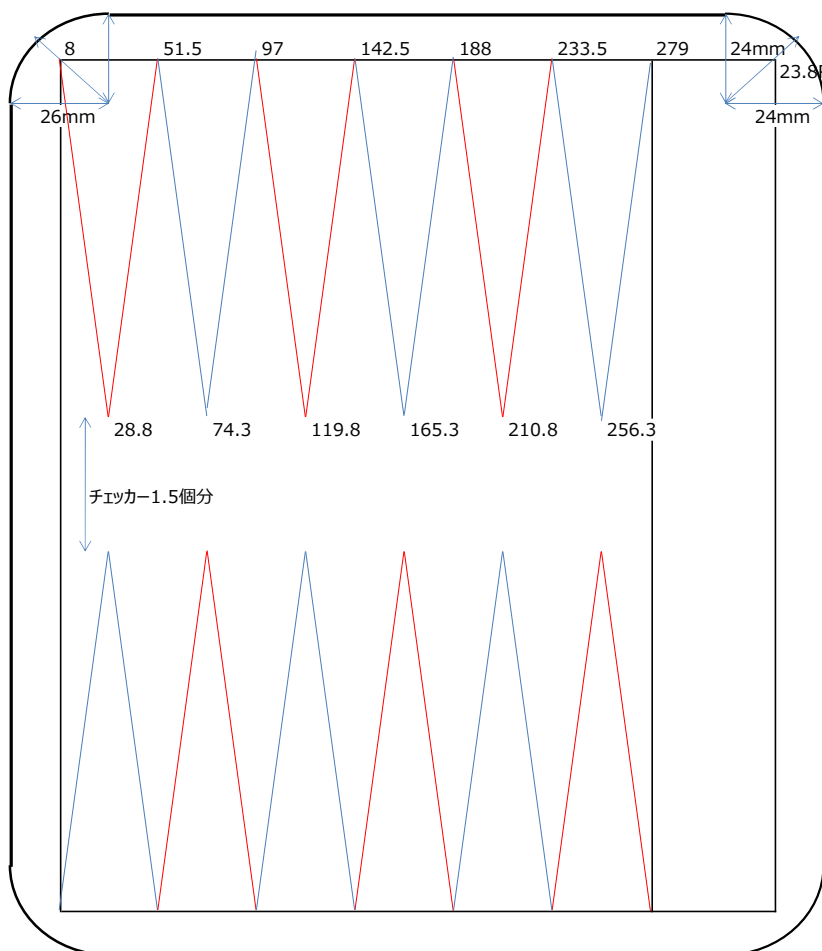
$$(8 + 330.16 + 8) 346\text{mm} \times (6 + 497.16 + 6) 509\text{mm} \times 4\text{mm} (2\text{枚}) \rightarrow 600 \times 450 \times 2\text{枚}$$
$$46\text{mm} + 5.5\text{mm} \times 2 = 57\text{mm}(4\text{本})$$

長さはチェッカーレスト組上げ後、実寸する



14mmの三角材なら彫り込む必要なし

340mm ← 枠材作成後、長さを実測  
8mm 273mm 9+46mm 6mm



6mm  
= 実質内半径(17.8) + 板厚/2

ぴったり合わせるには、0.63mm外側で墨付けする …①

7. 面切用櫛の切込の順

こちらを採用

1	墨付け、部材カット(側板)	15	底板作成 (枠材を引き割る前に底板を合わせた方が、コーナークランプしているのがやりやすい)
2	相欠ききぎを切り欠き(歯高5.9~6.0mm) トラベル23mm	16	枠に底板が正しくはまるかを確認(R部分をヤスリで調整)
3	中板差込み用ホゾ切込み(6mmスレートビット、歯高5.9mm)	17	下地調整、壁紙貼り付け、ポイント三角着色
4	底板用棧の掘り込み①(6.0mm、歯高4.5~4.7mm)	18	底板板はめ込み、枠材の目隠し分をヤスリ
5	底板用棧の掘り込み②(55.2mm、歯高6.0~6.1mm)	19	底板外側オイル仕上げ(チェリー色)(濡れ研ぎ)
6	底板用棧の掘り込み③(55.2mm、歯高8.2mm)	20	2枚に引き割り(中央合わせ注意)(フェンスには同じ側を沿わせること)(切り口整形)
7	曲げ用櫛の切込み(櫛歯切込み治具)(4.5 x 11歯)	21	チェッカーレストの三角材取り付け (引き割った後に付ける方が、上が空いているのでやりやすい)
8	下地調整(内側)	22	円筒蝶番用下穴開け(最初の2mmは木工10mmビットで、残りは金工ビット9.8mmで空ける)(11mm)
9	曲げ、コーナークランプで保持 相欠き継ぎ部分を接着	23	金具用下穴開け(購入し、寸法を確認しておく)
10	4φ丸棒作成、丸棒差し込み、トリム、目隠しをヤスリ	24	下地調整(特に外側)
11	部材カット(中板、レストスペース、キュー置場)(側板曲げ後の実寸確認後)	25	オイル仕上げ(内側、外側)(底板の貼り付け部分を養生しておく)
12	中板、チェッカーレスト部材ホゾ加工、下地調整、差込み確認	26	底板接着
13	中板差込み(歯厚分以上の隙間ができることを確認)	27	金具装着(蝶番、パッチン錠、取手)
14	チェッカーレスト棧、キュー置き場取り付け	28	完成